



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2005-2006年度RI会長  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

### 超我の奉仕



2005～06年度  
第2590地区ガバナー

金杉 誠

### SERVICE Above Self

会 長	山本 登	副 会 長	吉田 隆男
副 会 長	山木 幹夫	会長エレクト	小池 将夫
幹 事	江森 国一	クラブ会報	高田 修
S A A	吉橋佐千男	会 計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL:(314)3900 FAX:(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

【クラブテーマ】  
原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。



撮影 高田 修 会員

### 【大口通商店街（大口通）】

## 2005-06年度 第30号 週報NO.1449

2006年(平成18年)2月17日 第1449回例会記録 2月24日発行

- 司 会** 飯田 泰之 副幹事
- 点 鐘** 山本 登 会長
- 斉 唱** それでこそロータリー
- ゲスト紹介**

長谷川 治 様 (スピーカー)  
宮田登史子 様 (青少年交換学生保護者)

- ビジター紹介**
- 綾瀬.R.C 関川秀三郎 君
- 横浜MM21.R.C 山田 晃久 君

**結婚記念日祝**  
江森 国一 君 (2月17日)

**誕生日祝**  
梅崎 興生 君 (2月22日)  
伊澤 政宏 君 (2月22日)



- 会長報告** 山本 登 会長
- ◇1月29日開催の第4・5グループIMのお礼状が、ホストクラブの横浜緑.R.Cより届いております。
- ◇2008-09年度ガバナーノミニー候補者推薦の依頼が地区指名委員会より来ております。

- 幹事報告** 江森 国一 幹事
- 例会変更のお知らせ  
横浜東.R.C 2月24日(金)→23日(木) 移動夜間例会  
3月31日(金)→休会(定款第5条第1節適用)
- 本日例会終了後、第4回クラブ協議会を5階ジュビリーIIIにて行います。
- 伊澤政宏会員より、大阪御堂筋.R.Cのバナーを頂きました。
- 週報ご恵贈クラブ  
横浜港北.R.C、横浜北.R.C、ザ・ロータリアン

### 《2月24日》のプログラム

- ◆斉 唱 手に手つないで
- ◆献 立 幕の内弁当
- ◆卓 話 「30周年記念行事の一つをご紹介します」  
～国際理解月間に因んで～  
同志社女子大学 講師 伊ヶ崎陽子 様  
紹介者 石川 正三 会員

## 出席報告

山田 正憲 出席委員長

会員総数	62名	(45 + 17) 名
出席会員数	47名	(39 + 8) 名
出席率	86.67%	
ゲスト	2名	ビジター 2名
前回補正後	91.11%	前々回補正後 93.33%

## スマイルボックス

加藤 仁昭 副SAA

山田晃久ガバナー補佐（横浜 MM21R.C） 本日はお世話になります。

関川秀三郎君（綾瀬 R.C） 今日もお世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。

江森国一君 ①結婚記念日のお祝いをいただき、ありがとうございます。②長谷川様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

梅崎興生君 誕生祝を頂き有難う御座居ます。早いもので64才となります。

伊澤政宏君 誕生祝ありがとうございました。

山本登君 ワクチンの甲斐もなくインフルエンザで大事な臨時総会を欠席、御容赦下さい。（まだ本調子ではありません）

富居利貞君 太陽油脂 長谷川様、本日の卓話たのしみしております。

石川正三君 ①長谷川様、本日の卓話楽しみにしております。②盧さん、先日はご配慮いただき有難うございました。

月山勇君 加藤さん、先日はわざわざお越し頂き有難うございました。ご子息のお店が開店との事（3月3日）、お目出とうございます。

西山潔君 伊東さん、コート大変失礼致しました。もうパーバリーは着ないようにします。（うそです！！）

古川陽太郎君 太陽油脂 長谷川様、本日の卓話宜敷くお願ひ申し上げます。

加藤仁昭君 ①山田ガバナー補佐、ようこそおいで下さいました。②久しぶりの例会出席で皆様がなつかしいです。

2月17日	12件	27,000円
本年度累計額		1,623,790円

## 第4回クラブ協議会開催

【日 時】平成18年2月17日（金）例会終了後

【場 所】ホテルキャメロットジャパン 5階 ジュビリー III  
会員25名出席のもと、各委員長より活動の進捗状況の報告を頂きました。



## 卓 話

### 化学物質と石鹼と環境 ～水資源保全の為に～

太陽油脂株式会社 取締役開発部長 長谷川 治 様

紹介者 古川陽太郎 会員



#### 1. 化学物質に対する不安増大

ダイオキシン、アスベスト、ベンゼン、農薬、環境ホルモンなど、環境中に広く存在する化学物質に対する不安が増大している。

#### 2. 化学物質管理法（PRTR法）が制定される（1999年）

354物質が第一種指定化学物質に。

そのうち12物質（石綿、エチレンオキシド、ダイオキシン、ベンゼンなど）が特定第一種指定化学物質に指定される。

#### 3. 家庭からも化学物質が排出されている。

①直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩（LAS）  
・・・洗濯用合成洗剤

②ポリオキシエチレンアルキルエーテル（AE）  
・・・台所用合成洗剤、シャンプー

③P-ジクロロベンゼン・・・防虫剤

これらの化学物質は報告の義務、削減の努力が要求されるが禁止されていないため、依然としてテレビ宣伝がなされ、使用されている。

#### 4. GHS（Globally Harmonized System）

化学品の分類および表示に関する世界調和システムについて国際連合から勧告され、来年度に法制化され、化学品を危険有害性ごとに分類し、その情報を一目で分かるようなラベルの表示（絵表示）をする。

#### 5. 石けんの歴史と役割

5000年前にメソポタミア（今のイラク）で発見され、イタリアのサポーの丘がソーブ、シャボンの語源となった。石けんは油脂とアルカリ（灰、食塩）の反応物で、使用中は泡立ち、汚れを落とすが、使用後は河川、海の水のカルシウム、マグネシウムと結びついて食用石けんとなり小生物

のエサとなり食物循環となる。・・・環境に対するやさしさ。石けんは間違えて食べても元の原料の「油脂（脂肪酸）と食塩」に戻ってしまう。

## 6. 石けん普及の全国的動向

- ・北海道厚岸町では、カキ・ホタテの死の原因が森から流れてくる自然の有機物の減少と上流から流れてくる合成洗剤が原因と分かり、植林活動と石けん条例をつくって合成洗剤をやめ、石けんに変えることによりカキの養殖を再興した。
- ・新潟県の五頭温泉郷では、シャンプー・リンス・ボディークリームを全部石けんにかえることにより下流の「コシヒカリ」を本物の無農薬有機米にするとともに、川がきれいになったことによりホテルが復活しお客が増えている。

## 7. 3R から 4R へ、そして LOHAS (Lifestyles Of Health And Sustainability) な暮らしへ

- ・ Reduce
- ・ Reuse
- ・ Recycle
- ・ Refuse

\*\*\*\*\*

## □□□□ 【地区公式文書】 4 分間情報 □□□□

## 13. ロータリー米山奨学事業のあらまし

### (2) 米山奨学金制度の特徴

(2005 年 6 月 28 日現在)

#### 1. 米山奨学金の支給状況

2005 年度の米山奨学生採用数は 801 人（2005 年 4 月末現在）です。そのうち、博士課程は 367 人（延長者含む）、修士課程は 318 人で、大学院生が全体の約 86% を占めています。学部生は 103 人と 1 割強で、残り 13 人は、台湾・韓国からの研究員招聘や元米山奨学生の再留学、発展途上国の農村・地域指導者養成など、特別米山奨学金と呼ばれるプログラムの採用者です。

修士・博士課程の大学院生への奨学金額は月額 14 万円、学部生への奨学金額は月額 10 万円で、奨学団体の中では比較的高額の水準です。

なお、寄付金収入の減少により、2005 年の採用数は前年に比べて 2 割削減、奨学金額も平均 7% 削減されています。

#### 2. 米山奨学生はこのように選ばれます

～地域の大学と連携し、ロータリアンの“目”で奨学生を選ぶ指定校・大学推薦制度～

ロータリアンが支援するにふさわしい“優秀”な奨学生を選ぶ募集・選考システムとして、2001 年 10 月から、指定校・大学推薦制度が導入されています。これは、地区が指定する大学から、米山奨学生にふさわしい学生を候補者として推薦してもらう制度です。

大学から推薦された候補者を、各地区のガバナーや米山理事、地区米山奨学委員長などで組織する地区選考委員会で面接して、米山奨学生を決定します。

米山奨学生に求められる“優秀性”として、①学業優秀であること、②異文化理解に対する積極的な姿勢、③高いコミュニケーション能力、の 3 つを重視しています。

## 3. 「世話クラブ・カウンセラー制度」による留学生の心のケアを重視

ロータリー米山奨学金制度の最大の特徴は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。親善・交流を通じた国際理解を推進する米山奨学事業の要であり、ロータリー・クラブという地域密着の組織だからこそできる重要な特性といえるでしょう。

奨学生には、大学の所在する地区のロータリー・クラブから世話クラブが選ばれます。さらに世話クラブの会員の中から、専任のカウンセラーが 1 人付いて、奨学生の日常の相談に乗ったり、文化体験の案内役や交流の橋渡しに努めたりして、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。大学の指導教員と連絡を取り合ったり、自宅に奨学生を招いて家族ぐるみで交流したりする例も多くあります。

奨学生には毎月 1 回世話クラブの例会に参加することが義務づけられており、奨学金もそこで手渡されます。そのほかにも、奨学生には、ロータリー・クラブの例会で母国のことや自分の研究についてスピーチしたり、クラブ・地区の社会奉仕活動、交流会や研修旅行に参加したりと、ロータリーの活動を通じて、日本文化や地域社会と触れ合うさまざまな機会が提供されます。

「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い魅力として、奨学生はもとより、政府・大学などからも注目されています。

(財) ロータリー米山記念奨学会

## 14. ロータリー米山奨学事業のあらまし

### (3) 寄付金と表彰制度

(2005 年 6 月 28 日現在)

#### 1. 財政状況

米山奨学事業はロータリアンによって支えられています。奨学事業費は年間 15 億円にのぼり、いただいたご寄付はすべて奨学事業のために使われます。日本のロータリアンが、助成額全国 3 位を誇るまでに育て上げた米山奨学事業ですが、厳しい経済環境と会員数の減少により、寄付金収入は減少の一途をたどっています。

1999 年度から 2004 年度までは、寄付金の減少分を特別積立金を活用することで補ってききましたが、2005 年度にはついに奨学生採用数と支給額の引き下げに踏み切りました。

今後は、これ以上特別積立金を取り崩さないよう、寄付金収入に見合った奨学事業を目指し、事務費削減や補助費の見直しなどを行い、財政の健全化に努めています。

## 2. 寄付金と免税の優遇措置

寄付金には普通寄付と特別寄付の2種類があります。

普通寄付金は、全ロータリー・クラブから毎年1月1日および7月1日の会員数分のご寄付をいただいています。寄付行為(財団法人における定款)の「寄付金受領に関する施行細則」に、当会を援助する全ロータリアンから定期的に受領するものと定められ、当会奨学事業の安定的な財源となっています。1人当たりの寄付額は各地区の目標額を達成するため、各クラブで定めていただきます。1967年の財団化当初は「1人当たり月額50円以上(年額600円以上)」で始めました(当時の大卒初任給:26,150円)。現在は全国平均で年額4,000円となっています。平均金額を上回るようご協力をお願いいたします。

特別寄付金は、個人、法人またはロータリー・クラブから、普通寄付金以外に任意で寄付されるものです。特別寄付金には表彰制度が設けられています。また、個人、法人のご寄付に対しては、所得税および法人税法上の優遇措置が受けられます。あわせて遺言による特別寄付に対しても、相続税法上の優遇措置を受けることができます。

## 3. 表彰制度

特別寄付金に対する表彰制度は1972年から始めました。「累計で高額の支援を重ねている会員を特に表彰すべき」との地区からの要請に応じて「米山功労者賞」を設け、地区大会で盾を増呈することにしたのを機に、恒久的な制度として制定されました。

個人寄付に対する「米山功労者」表彰は、ロータリー財団のポール・ハリス・フェロー(米貨1,000ドルで表彰)にならぬ、当時の為替レートで同額に相当する累計30万円を第1回表彰とし、以降30万円ごとに表彰を重ねる形でスタートしました。

しかし、昨今の経済状況を鑑み、米山功労者をより身近な目標としていただけるように、2003年7月より、累計10万円を第1回表彰とする制度に改定しました。その後も10万円ごとに表彰され、第2回表彰(累計20万円)から「米山功労者マルチプル」、第10回表彰(累計100万円)から「米山功労者メジャードナー」と称号が変わっていきます。なお、従来の「米山ファンドフェロー」(累計15万円)は廃止となりました。

また、法人寄付に対しては、累計35万円を「米山功労法人」、累計が100万円に達したとき「米山特別功労法人」として表彰され、クラブには「米山功労クラブ」「クラブ創立記念特別寄付」「達成クラブ」などの表彰があります。

(財)ロータリー米山記念奨学会

## ◆◆◆ 『友』インターネット速報 ◆◆◆

### 【ポリオまん延国が4か国に縮小】

2月1日、世界的ポリオ撲滅計画は、エジプトとニジェールにおいて、12か月を超えて野生ポリオウイルスが認められなかったことから、両国がポリオまん延国ではなくなったと発表しました。この結果、ポリオが残る国は、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4か国に縮小しました。

人口が密集する都市部での発症があったエジプトに対し、ニジェールではへき地にワクチンが届かないことによりまん延していましたが、それを克服したのです。両国での成功は、2004-05年度に実施されたアフリカでの集中的なポリオ撲滅活動によるもので、同様の活動が2005年の最後の3か月にインドとパキスタンで展開され、効果を上げています。

2006年は、残り4か国での全国的なワクチン投与活動に加えて、隣国からポリオウイルスが侵入しているとされる国々でも、大規模なポリオ撲滅活動が予定されています。

### 【財団の未来を描く委員会がアンケート】

ロータリー財団未来の夢委員会では「Future Vision Survey(未来展望の調査)」として、オンライン上で15項目のアンケートを行っています。

この委員会は、フランク J. デブリン財団管理委員長はじめ、田中作次元国際ロータリー(RI)理事など、現・元財団管理委員、元RI理事を含む7人の委員によって構成されており、将来を展望して、財団が取り組むべき焦点と組織体制の長期計画を立案しています。委員会では、今回のアンケートなどを通じて、財団の効率化と簡素化についての意見を広く求め、今年中には計画案を提示、承認する予定です。

同アンケートに回答するには、RIの日本語ホームページ <http://www.rotary.org/languages/japanese/index.html> から入り、画面左下にある「ロータリー財団未来の夢委員会の参考とさせていただくため、アンケート調査にぜひご協力ください。」をクリックしてください。

\*\*\*\*\* 担当者より \*\*\*\*\*

会報委員 館野 典久

気温の変化が激しく、体調管理のむずかしい季節です。  
お体を大切になさってください。

次回《3月3日》の卓話予定

「最近の建築を取り巻く問題について」

今泉 文博 会員